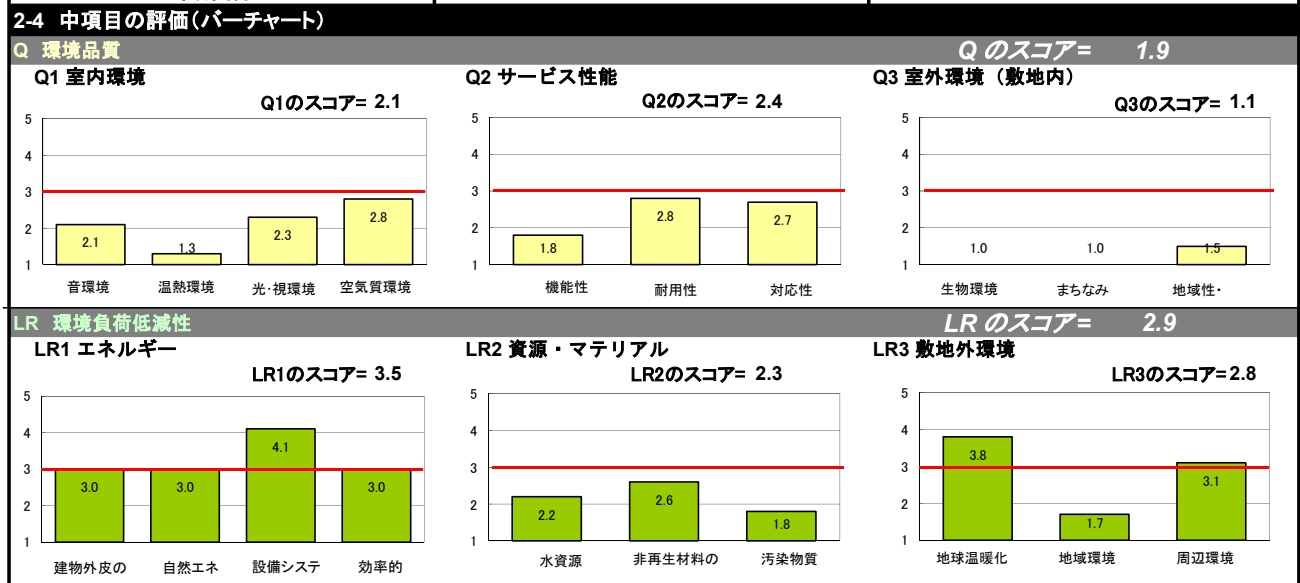
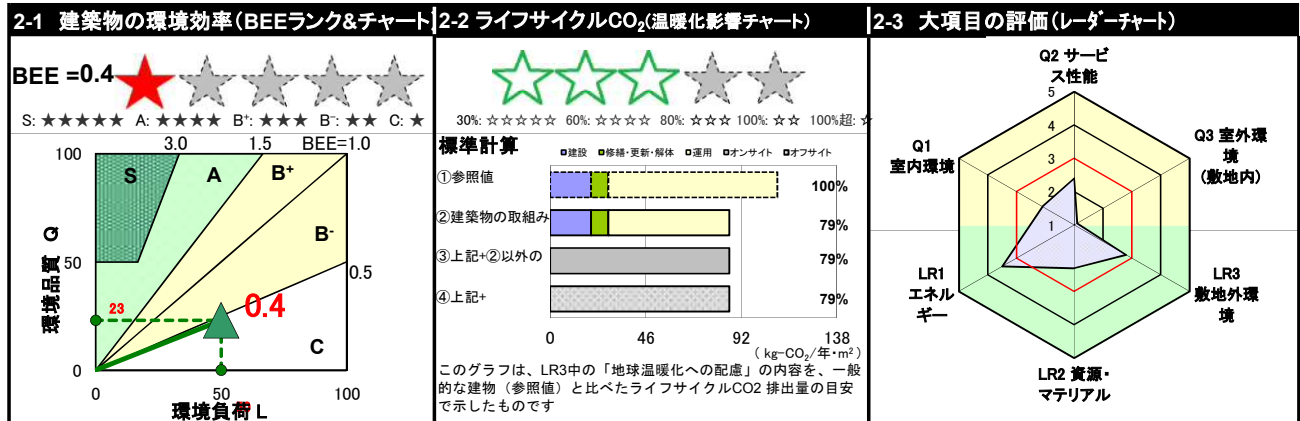
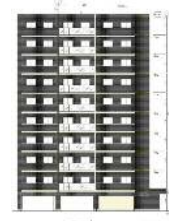


CASBEE[®]-建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	佐藤二丁目共同住宅	階数	地上10F
建設地	静岡県浜松市中区佐藤二丁目640番地	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、防火地域	平均居住人員	126 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年12月 予定	評価の実施日	2015年11月24日
敷地面積	921 m ²	作成者	武田達男
建築面積	273 m ²	確認者	
延床面積	2,478 m ²	確認者	



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
近隣商業地域に建つ共同住宅として、建築物の環境品質を高めると同時に、周辺地域への環境負荷を低くするよう計画している。		特になし。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
①底とカーテンを組み合わせることでグレア対策可能。 ②窓面積が居室面積の1/8以上を確保。	①内壁ビニルクロスの耐久年数=20年 ②主要配管3種のうち2種以上にB以上を使用。Eは不使用。 ③最小の階高=2.91m ④配管にはCD管を利用し、躯体と仕上げを傷めずに更新で	①空地率=70.8%
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
①一次エネルギー消費率=1.00	①LGS+ボードなど解体時に分別可能な工法を採用している。	①ライフサイクルCO ₂ 排出率=79% ②光害ガイドラインの一部を満たし、屋外広告物は過半を満たす。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される